

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ジョイハント		
○保護者評価実施期間	2025年12月5日	～	2025年12月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41 (回答者数)	32
○従業者評価実施期間	2025年12月6日	～	2025年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じて将来を見据えたきめ細かな個別支援が行われているのはもちろん、職員が子どもに寄り添い、安心して過ごせる雰囲気づくりをしながら絶対的に楽しいを保証している。	日々の支援内容や様子を職員間で共有し支援方法の統一や改善に努めている。子どもの小さな成功体験を大切に、肯定的な声かけを意識している。	職員研修を継続し、支援の質の向上を図る。
2	子どもたちが楽しみながら参加できる多様な活動内容を用意していて、社会性やコミュニケーション力、自ら考える力を育てる活動が充実している。	遊びや体験活動を通して、ルール理解や集団行動を学べるよう工夫している。子どもが主体的に参加できるよう、活動内容を柔軟に調整している。	現在低学年が多いため年齢や発達段階に応じた活動の幅を広げる。外部資源（公園、地域イベント等）も活用し、経験の場を増やしていく。
3	子どもの「困りごと」だけでなく、「やってみたい」「楽しそう」「楽しい」といった好奇心や「得意なこと・好きなこと」前向きな気持ちを大切に支援が行っている。	子どもの興味関心や「やってみたい」という気持ちを引き出せるよう、活動内容や声かけを工夫している。楽しさの中で成功体験を積み重ねられるよう、無理のないステップ設定を意識している。	子どもの好奇心を活かした新しい活動を取り入れ、主体的な参加につなげていく。「楽しい」という気持ちが学びや成長につながるよう支援内容を継続的に見直していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の人数や時間帯によって、送迎時間が間に合わない等十分な支援が行き届かない場面がある。	利用人数の増加に対して、職員配置や業務量の調整が難しい場合があるため。	業務の効率化や役割分担を見直し、支援に集中できる体制を整える。必要に応じて職員配置の検討を行う。
2	活動内容や支援方針について、十分に伝わりきっていないと感じる保護者がいる。	日々の業務の中で説明の時間が十分に確保できない場合があるため。	活動のねらいや支援の意図を、事前により分かりやすい言葉で伝える工夫を行う。個別メールや一斉送信を活用し情報提供を充実させる。
3	個別対応が必要な場面で、対応にばらつきが出ることもある。	職員経験や得意分野の違いにより、支援方法に差が生じることがあるため。	ケース検討やミーティングを通して、支援方法の共有を図る。マニュアルや支援の指針を整理し、誰でも一定の対応ができる体制を整える。